

# 滋賀マスタース陸上だより



発行／滋賀マスタース陸上競技連盟 編集責任者／小林 優  
〒527-0034 滋賀県東近江市沖野1丁目6-23 Tel 0748-22-2247  
<http://smr16.la.coocan.jp/>

2022.8

## 祝 小林会長「日本スポーツグランプリ」受賞

コロナ禍にともない、広報誌の発行を見合わせており、会員の皆様にはご報告がたいへん遅くなってしまいましたが、小林会長が昨年6月3日、日本スポーツ協会制定の「第16回日本スポーツグランプリ」を受賞されましたことをお伝え致します。

日本スポーツグランプリは、長年にわたりスポーツを実践し、現在も継続して活動され、中高年齢層における顕著な記録や実績を挙げられるなど、国内外で高い評価を得た方の功績をたたえるとともに、日本における生涯スポーツ振興の更なる醸成に資することを目的として、日本体育協会（現・日本スポーツ協会）が制定したもので、滋賀県では小林会長が初の受賞となりました。

手にされた表彰楯には次のように賞讃が刻まれています。

『あなたは永年にわたり 陸上競技に親しまれ  
八日市市民体育大会に第1回から連続出場し  
5000mでは19連勝を達成 また 2018年国際  
ゴールドマスタース M80クラス400mに出場し 金  
メダルを獲得した 2020年には年間の練習走行距  
離を3,227kmとするなど 次の大会に備えて走り続  
ける姿は 広く人々に感動や勇気を与えました  
ここにその功績を讃え表彰いたします』



中日新聞 2021.10.28 掲載記事より

15歳（高1）で陸上競技を始め、67年活動を続け、その間54歳の時にC型肝炎を発症し、治療を続けながら練習は欠かさず、競技会にも積極的に出場するなど、24年間続いた試練を乗り越え病気を完治させて今も競技生活を続けられるのは、毎日欠かさず練習内容、体調や天候などトレーニングダイアリーを書き続けている自己管理の効果が評されていて、永年にわたる小林会長の功績が認められたものとなりました。



### 小林会長 受賞のことば

「第16回日本スポーツグランプリ」は全国から9名が選出された大変ビッグな賞で、身に余る光栄に浴し身の引き締まる思いでいっぱい、推薦していただいた滋賀県スポーツ協会に感謝するとともに、長年にわたり競技生活が続けられる環境を与えてくださった職場や地域の組織・団体それに家族など、サポートしていただいた多くの方々のお陰ですが、特に切り離すことができないのがマスタース陸上の存在です。50歳の時全日本マスタース駅伝に誘ってもらったのがきっかけで、以後マスタース陸上の競技会に出場を続けました。年齢区分で競技ができ、次々と目標を立て活動するなかで多くの友人ができ、良き生活の糧となりました。

もしマスタース陸上に入っていなければ、今日の感激は味わえなかったと思っています。皆さんもぜひ先を目指して楽しんでいただきたいと思います。

今後も栄誉ある受賞に恥じないよう「生涯スポーツの実践者」として中高年齢者の範となれるよう頑張っ  
てまいりますので、よろしくお願い申し上げます。





